

日本人学生の中国語学習におけるライティングの問題点

陶 琳*

Problems of Japanese Students in Writing Chinese

Lin TAO

Abstract

It is very important to develop the students' listening, speaking, reading and writing ability in studying foreign language. In order to develop these abilities, I gave them assignments. One was to have them make a short speech in class. It was rather difficult for the Japanese students to write a short speech. In order to find the cause of this difficulty, I tried to examine Japanese students' problems in writing Chinese sentences. By analyzing their errors in their papers I concluded that the Japanese students' main causes of errors are that sentences are incomplete and meanings are unclear; words are not collocated properly, unequivocal terms are not used, word orders are incorrect, writing forms are improper, paragraphs are not well organized, there are grammatical errors and Chinese characters and punctuation marks are misused.

These errors are affected by the students' mother tongues. It also means that they should be encouraged to acquire more vocabularies and fundamental knowledge about the language structure in order to write more correct Chinese sentences.

It is important for students to have intellectual excitement during classes. In their paper I would like to mention a method of teaching in which educational problems can be examined.

1 はじめに

これまで外国語のライティングの学習について研究発表されたものには英語の方があ
るが、中国語のライティングの学習について研究発表されたものには日本にあまり見られ
ない。中国語作文指導書はすこしあるが、実際の日本人を対象にしたライティングの分析研
究はほとんどない。今回私の行ったライティングの学習に関する研究は日本人学生の中国
語学習におけるライティングの実態に見られた全体の問題点の考察と分析である。学生た
ちが外国語の学習において、「聞く」「話す」「読む」「書く」の能力を養うことがとても重
要である。この四つの能力を養成するために中国語のリスニングとライティングの授業の
はじめに、3分から5分間のスピーチを実行した。スピーチをすることは発表する学生に中
国語の「話す」と「書く」の練習をさせるばかりではなく、聞いている学生たちにも「聞く」
と「読む」能力を上達させる機会を与えることになるのである。中でも基本となるスピーチ
原稿を「書く」ことが学生たちにとって非常に難しいだと思われる。

日本人学生が中国語で文章を書く時、難しいと感じる原因は何か、どのような問題点が

多いかを明らかにすることが必要である。この研究は日本人学生の中国語学習におけるライティングの問題点を明確にし、分析することがある。中国語学教育に学生のライティングの指導に役立つ参考資料を提供することを目的とする。

2 研究方法

本研究は中国語のリスニングとライティングの授業中、学生たちの発表したスピーチを資料として調査して日本人学生の中国語学習におけるライティングの実態を明らかにし、その問題点を考察する。四年生のリスニングと五年生のライティングの授業中、毎週一人の学生がスピーチした。学生たちの作文力を高めるために、スピーチのテーマを自分で決め、様々な表現を自分で調べることにした。発表する前には必ず教師に書いた文章を提出する。教師が文法、語法を添削する。添削された文章を、学生はきれいに書き直し、発表して再提出する。ここに学生たちの発表する前のスピーチ原稿を61部収集した。

3 調査の結果

それら学生の文章と添削した文章に基づいて調査し、まずライティングの問題点を明らかにする。その上で各々の問題点を分析する。以下はその順で記述することにする。そのテーマは表1の通りである。

表1 スピーチのテーマ

テーマ (中国語) (字数)	女	男	テーマ (中国語)	女	男	合計
一个很好的回忆 (191字)	1		我的一天 (191字)		1	2
七夕传说 (388字)	1		二十岁的决心 (400字)	1		2
我的爱好 (194/186/235/178字)	3	1	日本的季节 (207字)	1		5
我的看书爱好 (190字)	1		我的“长袖” (239字)	1		2
我家人的爱好 (288字)	1		“七五三” (272字)	1		2
橄榄球俱乐部 (200字)		1	我奶奶 / 我的妹妹 (235/162字)	2		3
今年的目标 (310字)		1	我们的故乡“富山” (244字)	1		2
十九岁的目标 (232字)	1		冬天的乐趣 / 秋天 (267/231字)	2		3
今年的学汉语目标 (248字)	1		我喜爱的音乐会 (188字)	1		2
外国人民宿在我家的好处 (222字)	1		再谈宿舍生活 (233字)	1		2
我最近的变故 (191字)	1		最近的我 (176字)	1		2
我的宝物 (251字)	1		俱乐部活动 (235字)	1		2
毕业后的打算 (204字)	1		我的暑假 / 暑假预定 (132/233字)	1	1	3
我的差错 (210字)	1		软式垒球 (157字)		1	2
暑假的旅行记 (203字)	1		在商船得到的宝物 (241字)	1		2
正能吃 (291字)	1		我的寒假 (217字)	1		2
海水浴 (164字)		1	连续三天的假日 (233字)		1	2
电脑 (187字)	1		心身的平衡(心と身体のバランス) (138字)	1		2
打工(体验) (151/225字)	2		新年 (221字)	1		3
五年间的回忆 (224字)	1		大荣队胜利了! (199字)		1	2
暑假的(美好)回忆 (222/219字)	2		看电影 (318字)	1		3
中国的新闻 (296字)	1		惭愧得很 (257字)	1		2
毕业研究 (144字)	1		北斗节 (190字)	1		2
我最近热衷的事 (213字)	1		我的就业企业 (185字)	1		2
最近最喜欢看的电视节目 (280字)		1	我未来的梦想 (305字)	1		2
精神打击 (260字)	1		同志权 (182字)	1		61

スピーチのテーマはいろいろであり、内容も豊富でとても良く出来ていた。しかし、勉強していない単語と語彙が沢山あって、学生たちは約1、2時間以上かけて辞書で調べて書

いたという。日本人学生たちのスピーチの中で、よくある問題点は表2の通りである。誤用のパターンの出現率を見ると、不完成文・意味不明文が一番多かった。語彙の不適切性は2番目であった。文法が正しくないのは3番目であった。初級というより中級中国語の問題点が多かったと言える。

表2 日本人学生の中国語学習におけるライティング問題点

	日本人学生の中国語学習におけるライティング問題点	合計(個)	出現率(%)
1	文が不完成であり、意味が明確ではない。内容を正確に伝えない	155	25.7
2	語彙の使用が不適切	131	21.7
3	文法が正しくない	95	15.7
4	漢字の誤用	67	11.1
5	語順混乱	55	9.1
6	中国語で文書の書き方が分からない	40	6.7
7	段落が不明	40	6.7
8	句読符号の誤用	20	3.3
合計		603	100.

4 結果の分析

4.1 不完成文・意味不明文について

これはライティングの問題点の中で一番多かった一つである。例えば：

- (1) 可是这次旅行对我来说成了既贵重，也有好处经历。
- (2) 明年的暑假，我想运动很多。于是我也想发现新的快乐，经验新的很多事。
- (3) 但我不忘商店店长，打工朋友们和面包的味道。
- (4) 我每天入浴大约一个小时。我很出大汗。因为流不好物，一起汗水，所以身体舒畅。
- (5) 以后，我想过生活对每季节的小变化敏感，感动。

上の文は多少不完成であり、意味が明確ではなく、内容を正確に伝えていない。これらの文は長文であり、複雑文である。学生達は長く、複雑な文を作る能力が弱いと窺える。つまり、学生たちは自分の言いたいことを中国語で表現するには、まだまだ語彙などが不十分であり、接続詞と修飾語の使い方はよく分からないことがあり、文や語句を繋ぐ能力が不足している。上の例文を訂正すると、次のようになる。

- (1)' 可是这次旅行对我来说是一次既宝贵，又有益处的经历。
- (2)' 明年的暑假，我想多运动，并且我也想发现新的乐趣，体验更多的新事物。
- (3)' 但我忘不了这个店和店长，忘不了打工的朋友们，也更忘不了这里的面包的味道。
- (4)' 我每天入浴大约一个小时。这样我会浑身出汗。因为随着汗水，身体里的脏物也随之流出，所以感到身体很舒畅。
- (5)' 今后，我想过对每个季节的小变化都很敏感，而且能使自己感动的生活。

4.2 語彙の不適切について

この問題点は2番目に多い。表3はその一部である。

表3 日本人学生のライティングにおける不適切な語彙

	不適切な語彙	訂正した語彙
(1)	贵重的机会	难得的机会
(2)	韩国人的女人	一位韩国姑娘
(3)	米国人的夫妇	一对美国夫妇
(4)	外语授课	外语课
(5)	追上授课	跟上课程
(6)	一定不可忘	永远不会忘记
(7)	可耻	感到羞愧(5次)
(8)	各种各样方面	各个方面
(9)	我非常失望了	我感到非常失望
(10)	差一点儿来夏天	就要到夏天了
(11)	热烈起来高冈	使高冈变得热闹起来
(12)	好点	好处
(13)	变成	想成为(成为一个) (二次)
(14)	接近	马上就要...了
(15)	多么极好	多么好
(16)	从前	以前
(17)	事件	事情
(18)	很好的回忆	美好的回忆
(19)	下面	以后
(20)	大概	大约
(21)	正合适热的火锅	正适合吃热的火锅
(22)	最上面	最高年级
(23)	思索	认为
(24)	最后	后来
(25)	教课上	课堂上
(26)	现代	现在
(27)	贵重	宝贵
(28)	明朗	开朗
(29)	理想	梦想(五次)
(30)	诡计	设想
(31)	相好	很要好
(32)	准备	能抵抗
(33)	度过	过
(34)	招呼了	叫成了
(35)	又正起来了	又是刚醒来
(36)	混蛋	自己很浑
(37)	吃惊了	吃了一惊
(38)	未来	将来
(39)	次序	名次
(40)	知道	了解到
(41)	到现在	以前
(42)	没烫发	并不是卷发
(43)	遭受	打击
(44)	越来越低	越来越少
(45)	心标	心态
(46)	经验	体验
(47)	削去	消除
(48)	长期	漫长
(49)	一点前	几年前
(50)	家族	家长/家里人 (三次)

これはまだ学生達は語彙が不十分である上に殆ど母国語に影響されるためと言える。一

部の学生は日本語の漢字と中国語の漢字の区別、及び中国語の漢字の使い方に対して十分に理解できてない。例えば表3の(1)“贵重的机会”は日本語(貴重)との同形異義語の誤用である。(2)と(3)は“一+量詞”を表わす誤用である。他に中国語の簡単な決まりやフレーズを知ることが不十分である。つまり、日本人の言語習慣から中国語へ移行することが難しいだと窺える。漢字1字の場合、2字以上の場合、単語なのかフレーズなのか分からないものがある。

4.3 文法が正しくないことについて

文法の問題はさまざまである。すでに既習した文法の間違いも見える。

1) 形容詞述語文と名詞文の“是”と完了「た」(訳語としての“了”の誤用)

- (6) 面包是很好吃。(面包很好吃。)
 (7) 它是很可爱。(它很可爱。)
 (8) 可是很有意思了。(可是很有意思。)

(6)と(7)文は正しくない。なぜなら形容詞述語文とは、文の主語と述語の間に“是”やその他の動詞を用いる必要はないからである。(8)も文末の“了”を用いる必要はない。これらの問題は15個見られた。

2) 動詞の実現や完了を表す“了”を使っていないこと

- (9) 我过有意义的连续三天的假。
 (10) 前几天，我妈妈给我这个手表。

「…した」に当たる“了”は陳述文で動作の実現や完了を表わし、動詞の後につける。(9)の訂正した文は“我过了一个有意义的连续三天的假。”である。(10)の訂正した文は“前几天，我妈妈给了我这块手表。”である。これらの問題は18個見られた。尚、いつもの動作は“了”を用いる必要はない。また否定形は動詞の前に“没有”または“没”をつけ、“了”をとる。例えば：

- (11) 每天带她去散步了。
 (12) 没有上网了。

(11)の訂正した文は“每天带她去散步。”である。(12)の訂正した文は“没有上网。”である。

3) 文の中に動詞がない

- (13) 我和她五岁差不多。
 (14) 我想跟外国人牵连工作。

(13)の正しい文は“我和她相差差不多五岁。”である。(14)の正しい文は“我想做跟外国人有关联的工作。”である。これらの問題は15個見られた。

4) 接統詞の誤用

前後の語・句・文を接続して一定の文法関係を表す接続詞の誤用の文は非常に多く、38個あった。例えば：

(15) 但是别看我家有电脑，没有上网了。在家里，常常我要使用因特网，不方便了。

(16) 少年偷钱了从不仅，自己的双亲也不认识的人。

(17) 除了青豌豆以外，我可以吃不管什么。

以上の文を訂正すると、次の通りである。

(15)' 但是别看我家有电脑，却不能上网。在家里，当我要使用因特网时，因为不能用，所以感到很不方便。

(16)' 少年不仅偷自己父母的钱，而且还偷不认识的人的钱。

(17)' 除了青豌豆以外，我不管什么都能吃。

又、学生たちは“首先”（まず第一に）、“其次”（次に）、“最后”（最後）、“第一”、“第二”、“第三”など使い方がよく分からないと言える。今後ライティングの授業中、接続詞の活用の学習は大切だと思われる。

5) “是……的” と “了” の強調文の誤用

“是……的”という述語文は、過去に行われた動作、あるいは以前から現在まで継続して行われているの時間・場所・方法・条件・目的・対象、あるいは動作主などについて説明する時に使われる。“是”は省略することができるが、“的”は絶対に省略することができない。日本人学生はこの活用が不十分なこともある。例えば：

(18) 我跟十几人的学生一起去了。

この文末の“了”は正しくない。訂正すると、“我(是)跟十几个学生一起去的。”

6) 名詞述語文の“是”の誤用

(19) 她是七十三岁。

中国語の名詞述語文は多く正面から主語の説明をするので、その述語の前に一般には“是”はなくてもよい。(19)の文を訂正すると、“她七十三岁。”である。しかし弁解の時は、述語の前に“不是”をつける。

7) 疑問文の誤用

(20) 你有没有兄弟姐妹吗?

述語の肯定形と否定形をならべて構成した疑問文を反復疑問文という。この文の文尾に、“吗”をつけることはできない。この文を訂正すると、“你有没有兄弟姐妹?”である。

4.4 語順混乱について

日本人学生の中国語学習におけるライティングの語順混乱の問題も多い。学生は母国語—日本語の語順構造に影響され、中国語の語順構造を混乱して使用していた。例えば：

- (21) 大家这种的体验有没有?
- (22) 我感遗憾现状和想不通。
- (23) 我很感兴趣中国和汉语。
- (24) 准备工作全世界使用英语和汉语。

以上の文を訂正すると、次のようになる。

- (21)' 大家有没有这样的体验?
- (22)' 我对自己的现状感到遗憾和想不通。
- (23)' 我对中国和汉语很感兴趣。
- (24)' 我准备用英语和汉语为全世界的和平而工作。

4.5 漢字の誤用について

漢字の誤用には二つ問題がある。

1) 一つは日本人学生が中国語の文章を書く時、日本語の漢字を使う点である。中国語は日本語の漢字と同じく漢字があるが、実は全く違う漢字もある。今回収集した中で間違っていた漢字は表4の通りである。

表4 日本人学生の中国語の文章に書き違った漢字

中国語漢字	觉	费	连	为	查	冈	海	难	包	带	每	满	验	泽	别	妇	假	动	处	趣	颜色	介绍	叫	气
日本語漢字	覚	費	連	為	查	岡	海	難	包	帶	每	滿	驗	沢	別	婦	暇	動	処	興	色	紹介	叫	氣
次数	5	4	4	3	3	3	2	3	1	1	4	3	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2

2) もう一つは誤字とあて字である。例えば：

表5 日本人学生の中国語の文章に見られた誤字とあて字

見られた誤字とあて字	正しい漢字	次数
的	地	2
努力自主	独立自主	1
很怕冷得人	很怕冷的人	1
租	租	4
寒冷得冬天	寒冷的冬天	1
令	今	2
昨年	去年	1
聊	聊	2
模	莫	1

4.6 文書全体の書き方の問題について

今回収集した文書全体の書き方の問題には三つある。

1) テーマを提示しなかった学生が多い。なお、そのテーマの位置取り及び改行する時、

二文字開けてから書き始めることを知らない学生は 86%を占める。

- 2) 文章全体で一つの段落を構成していたり、或は一つの「センテンス」は一行で終わりそれが1段落として終わることがある。段落が明白ではない文章も多かった。
- 3) 中国語では文章記号を厳しい規則で使用する。今回収集したスピーチの文章の中に文章記号即ち句読符号の誤用が 20 個あった。句点、コンマ、読点の間違が見られた。以上を総合して見ると、学生たちは中国語で基本的な文章を書く知識が足りないということがわかった。

5 まとめ

日本人が中国語を学ぶにあたり、難しい分野の一つは、他の外国語と同様、「書く」ことだと言える。この小論は中国語のリスニングとライティングの授業中、学生たちの発表したスピーチを資料として調査して日本人学生の中国語学習におけるライティングの実態を明らかにし、その問題点を考察した。その分析の結果は次のようになった。

1. 学生たちは中国語で基本的な文章を書く知識が足りないことが窺える。
2. 学生達は長く、複雑な文を作る能力が弱いと窺える。つまり、学生たちは自分の言いたいことを中国語で表現するには、まだまだ語彙などが不十分で、文や語句をどのように繋ぐのかという能力が低いと言えよう。
3. 接続詞を使って文を構成する力及び正確な表現能力が不十分と言える。
4. 学生は母国語に影響され、漢字と語彙と文法の間違が多い。
5. 中国語の簡単な決まりやフレーズをあまり分らない。
6. 日本人の言語習慣から中国語へ移行することは難しい。漢字 1 字の場合、2 字以上の場合、単語なのかフレーズなのか分らないものがある。

今回の私の調査研究からすると、次のようなことが言えるだろう。今後中国語のライティング授業の課題は文書を作る為にまず中国語で基本的な文章を書くの学習は大切である。それから、正確な表現能力を習得するため、文法、語法が適切な場面で使用できるようにリーディングや基本的な語順、基本文型に習熟させることや中国語の簡単な決まりとフレーズ等の文法語法の学習との有機的な結合を図り、ライティングの指導の高度化を図ることが大切である。また自己訂正力を高めていくために反復訂正練習がこれから一番大切な学習だと思っている。

参考文献

1. 江天著 1980『現代漢語語法通解』中国遼寧人民出版社
2. 王国欽 著 2002『錯字病句問題辞典』江蘇少年兒童出版社
3. 郭春貴・徳永淳子・高橋海生 著 2000『中国語作文』白帝社
4. 朱徳熙 著 1988『現代中国語文法研究』白帝社
5. 蘇氷・山内智恵美・黒坂満輝 著 2003『作文の達人』白帝社

6. 全国三十八所重点中学教師編 1997 『語文基礎知識手冊』中国吉林人民出版社
7. 張立栄主編 2003 『中国小学生錯別字・易錯詞・病句手冊』中国少年兒童出版社
8. 長山昌子 著 2000 『国際流通学科低学年におけるライティング指導』富山商船高等専門学校研究集録
9. 劉大為 2004 『病句理解的語言策略』「語文論 8」上海教育出版社
10. 陳壁躍 2004 『当前文言詞語和成語的誤用語書举隅』「語文論 8」上海教育出版社